



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ プ ロ セ ル
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 横 山 周 史
(コード番号：4978)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 白 井 大 祐
(TEL. 045-475-3887)

慶応義塾大学、順天堂大学との共同事業
「iPS細胞由来神経細胞を用いた創薬支援のためのアプリケーション開発」の
横浜市特区リーディング事業助成交付対象事業への採択に関するお知らせ

この度、京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区「横浜プロジェクト」における慶応義塾大学、順天堂大学との共同事業「iPS細胞由来神経細胞を用いた創薬支援のためのアプリケーション開発」（以下「本共同事業」）が、平成 28 年度横浜市特区リーディング事業助成の交付対象事業として採択をされましたので、お知らせいたします。

「特区リーディング事業助成金」は、『個別化・予防医療時代に対応したグローバル企業による革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出』を目的とし、産学連携や市内への産業集積、雇用拡大によって横浜経済の活性化に寄与する特区事業に対して交付される助成金です。

本共同事業では、当社、慶応大学、順天堂大学が共同で、製薬企業が使用しやすい創薬支援アプリケーションを開発し、ヒトiPS細胞由来神経細胞を用いた新薬の開発を普及していくことを目的としております。

パーキンソン病などの神経疾患に対する薬剤の開発ツールとしてiPS細胞由来神経細胞の活用が期待されておりますが、薬物を評価する試験系が複雑であるなど、本格的な導入には課題が残されております。

そこで、本共同事業において製薬企業が利用しやすい創薬支援アプリケーションを開発する事により、新薬開発の期間短縮や低コスト化が進むこととなり、新薬をより早く患者様へ届ける事が可能となります。

なお、この度の採択により、本共同事業の研究開発に対する助成金を受領する予定ではありますが、受領は来年度を見込んでおり、今期の業績予想への大きな影響はありません。

当社では引き続き、ヒトiPS細胞由来の機能性細胞を活用したプロジェクトを推進してまいります。

「平成28年度横浜市特区リーディング事業助成金」助成対象事業の内容
事業の名称： 「iPS細胞由来神経細胞を用いた創薬支援のためのアプリケーション開発」
助成期間： 平成28年10月～平成29年3月
助成予定額： 約23,989千円（当社にて一括で受領後、慶応義塾大学、順天堂大学へ分配）

【ご参考】

本採択に関する詳細につきましては、下記資料をご参照ください。

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/201611/images/phply3jpg.pdf>

以 上